



# 銀座の言語景観7

日本大学文理学部国文学科  
日本語学基礎演習2

- はじめに
- 銀座の百貨店における外国人観光客への取り組み
- 銀座オフィシャル掲載の飲食店における言語表示の実態
- 料理店のジャンルごとの言語景観の違い
- 各地域のマツモトキヨシにおける言語景観の違いから銀座のあり方を考える
- 銀座周辺のデパートにおけるピクトグラムについて
- 銀座百貨店のレストラン街における言語景観の比較

 

## 第3章 銀座オフィシャル掲載の飲食店における言語表示の実態

### 3.5. 『カフェ』『天ぷら・うなぎ』の言語表示 (佐藤莉香)

#### 3.5.1. 調査結果

表1 カフェにおける各項目の有無 (○:有、×:無)

店名	メイン看板	外メニュー	ホームページ
東京風月堂	○	○	○
GINZA TANAGOKORO	○	○	○
SANJIKKEN	○	○	×
トリコロール 本店	○	○	○
日東コーナー	○	○	○
LENTARO CAFE	×	×	○
ブロンデル銀座	○	○	○
Cafe de Ginza M Yuki-kan 本店	○	×	○
洋菓子舗ウエスト	○	×	○
銀座千疋屋	○	×	○

表2 天ぷら・うなぎにおける各項目の有無 (○:有、×:無)

店名	メイン看板	外メニュー	ホームページ	その他
銀座 天國	○	○	○	○
天一 本店	○	○	○	×
ハゲ天	○	○	○	×

#### 3.5.2. 調査結果の分析

##### 【カフェ】

どの項目においても日本語・英語の2言語表記である店が圧倒的に多く、簡体字か繁体字、もしくはその両方も表記しているのは、洋菓子舗ウエストの店舗ホームページのみだった。また、メイン看板においては日本語・英語の2言語表記である店の大半がデザインとして英語表記を使用していたり、外メニューにおいても英語表記の案内が日本語表記のそばに添える形で小さく書かれていたりするだけなど、多言語対応はあまり進んでいないと考えられた。

図1 東京風月堂メイン看板



図2 ブロンデル銀座外メニュー



ブロンデル銀座のみ、外メニューは図2のように日本語表記と英語表記を分けていた。

##### 【天ぷら・うなぎ】

店舗ホームページでは、天一本店とハゲ天の2店が日・英・中(簡)表記であったが、天一本店は一部のページの表記が切り替わるだけで、全てのページの表記が切り替わるわけではなかった。メイン看板・外メニューは、どちらも日本語表記のみである店がほとんどだった。ただメイン看板においては、図7のハゲ天のように独自のシンボルマークを用いるなど、日本語を読めない外国人であってもわかりやすい看板にすることで、他言語を使用する必要がないという理由が考えられる。銀座天國のみリーフレットがあったためそれも調査してみたが、これも日本語表記のみだった。

図3 ハゲ天メイン看板



#### 3.1. 調査概要

#### 3.6. 『和菓子』『洋食』の言語表示 (鄭 詒儒)

#### 3.7. 『寿司』『トンカツ』の言語表示 (野村 優)